

第1学年○組 算数科学習指導案

指導者 井上 美保子

1 単元名 3つの数の計算

2 単元の目標

- (1) 3口の数の加法、減法、加減混合の場面を読み取り、1つの式に表して解決しようとする。
(算数への関心・意欲・態度)
- (2) 加法、減法が続いて起こる場面を一つにまとめて表現できるよさに気付くことができる。
(数学的な考え方)
- (3) 3口の数の加法、減法、加減混合の場面を式に表したり、計算したりすることができる。
(数量や図形についての技能)
- (4) 3口の数の加法、減法、加減混合の場面を式に表し、計算の仕方を理解している。
(数量や図形についての知識・理解)

3 ICT活用のポイント

(1) デジタル教科書



- ① 活用のねらい
 - ・絵を提示し話し合わせることで、児童が問題場面を確実に把握できるようにする。
- ② 活用の工夫
 - ・3枚の絵を時系列に沿って順次提示する。
 - ・絵を拡大表示することにより、どの児童にも見やすいようする。

(2) 実物投影機



- ① 活用のねらい
 - ・画像等を指し示しながら説明することにより、発表者の考え方や方法などを、他の児童に理解しやすいようにする。
- ② 活用の工夫
 - ・児童の発表がスムーズに行えるように、事前にICTの準備をしておく。

4 本時の学習(2/6)

(1) 目標

- ・3口の数の減法の場面を読み取り式に表し、その計算ができる。

(2) 展開

時間	学習活動及び内容	・指導上の留意点○個別の支援○評価
10分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>ふねにいぬが9ひきのっています。3ひきおりました。また2ひきおりました。いぬはなんぴきになったでしょう。</p> <p>2 見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・分かっていること・求めること	<ul style="list-style-type: none">・前時を振り返り、3口の加法を1つの式にできたことを確認する。・3枚の絵に合うお話をすることで、問題をしっかり捉えられるようにする。・分かっていることや求めることに下線を引き、全体で確認する。
20分	<p>3 自力解決をする。</p> <ul style="list-style-type: none">・図をかく・ブロック操作・$9 - 3 = 6$・$6 - 2 = 4$・$9 - 3 - 2 = 4$ <p>4 各自の考えを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) ペアで話し合う。(2) 全体で話し合う。・発表したい友達の話を聞く。・3口の数の減法の仕方を話し合う。	<ul style="list-style-type: none">○絵に合うブロック操作はどうしたらよいか考えるよう助言する。○絵や「おりる」という言葉から、たし算の場面か、ひき算の場面かを考えるように助言する。○2つの式に表した児童には、1つの式にまとめられないか考えるよう助言する。○早く終わった児童には、自分の考えが発表できるように練習することを伝える。・実物投影機を使って、児童に考えを発表させる。発表後は、比較検討ができるように、教師がポイントを板書しておく。・1つの式に表すことで、連続した場面が分かりやすいことを確認する。
15分	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>3つのかずのひきざんも1つのしきでけいさんすることができる。</p> <p>6 練習問題を解く。</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ブロック操作をしながら、式の左から順にひいていくことを確認し、まとめる。○3口の数の減法の場面を式に表し、計算することができる。・分かったことや学習の取組についての振り返る活動を取り入れる。